

様式（再測 5-2）

令和元年 6 月 6 日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

議員名 飛野 弘



調査研究活動報告書

下記のとおり、調査研究のため視察を行ったので報告します。

記

- 1、期 間 令和元年 6 月 4 日
- 2、視察内容 「寺子屋」事業について
- 3、視察先 島根県松江市雑賀公民館（松江市教育委員会）
- 4、調査経費 1,141 円
(内訳)

浜田市役所で待ち合わせし、道下議員の自家用車にて高速道経由で雑賀公民館まで往復した。

	金 額	備 考
高速道路通行料	3,280 円 / 5 名 = 656 円 / 1 名	浜田⇔江津、斐川⇔松江玉造
自家用車燃料代	2,428 円 / 5 名 = 485 円 / 1 名	浜田⇔雑賀公民館 = 135 km
合 計	5,708 円 / 5 名 = 1,141 円 / 1 名	

5、調査研究活動の概要

下記のとおり、調査研究のため視察を行ったので報告します。

	松江市	浜田市
市長	松浦正敬 71 歳 14 年	久保田章市 67 歳 5 年
地理	宍道湖、中海を抱く風光明媚な水の都。 古代出雲文化圏の中心地で、15 年に天守が 国宝に指定され、18 年に中核市に移行した。	旧石見の国の中心地として栄え、山陰を代 表する軍都であったが、現在では水産都市と して機能している。
市町村合併	05 年に松江市、鹿島町、島根町、美保関町、 八雲村、玉湯町、宍道町、八束町が、 11 年：東出雲町が合併。	05 年に浜田市、金城・旭・三隅町、弥栄村が合 併。



①小学1～3年生を対象にした、放課後の「児童クラブ」

②全小学生が、1～2回活動/週の「放課後子ども教室」

などを展開している。

イ) 事業概要

・放課後や休日に公民館や学校で、教員OB・大学生・地域住民・公民館職員が、自主学習を基本とした小・中学生の学習支援や居場所づくりに取り組む。

ウ) 実施回数

・原則として、2回/月以上 or 24回/年以上

エ) 補助金

・指導員謝金（交通費含む）：max1,000円/時間の他、保険料や運営消耗品など、max236,000円を補助する。

オ) 実績（3年間）

	実施館数	参加児童数
平成29年度	7	419名
平成30年度	11	692名
令和1年度	13	800～1,000名（目標）

カ) 成果（抜粋）

- ・始めと終わりの号令を子どもたちに実施させていて、活動には集中して取り組んでいる。
- ・子どもたちの居場所が出来て、満足そうである。
- ・指導するほうも、子どもたちや地域の方と交流が進み、満足しているとのこと。

キ) 課題（抜粋）

- ・参加児童が多く、部屋不足のところがある。（逆のところも）
- ・来てほしい子ども（学力向上、家庭で十分見てもらえない）が来ていない。
- ・指導員の確保が難しい。

ク) 今後の方向性

- ・実施団体の拡充（モデル等の掲示）
- ・実施団体と学校との連携
- ・家庭学習の充実と、地域で子どもを支える環境づくり

コ) まとめ 【雑賀公民館長（赤木さん）】

平成30年度に実施したところは、今年度も全館実施の意向であり、それぞれ「手ごたえ」を感じたことが大きな理由である。参加した子どもたちだけでなく、保護者や地域、学校からも高い評価を得ている。

一部では、目的をもっと明確にしてとの意見もあるが、誰もが参加できる場を設定していく中で、もっと学校と連携を強化してこの事業を拡充していく工夫が必要である。

来年度は、現在の形で継続しながらより充実したいと考えているところがほとんどであるが、自学だけでなく、より積極的な学習の場を設けたいと考えているところも少なくない。

また、現在の事業は補助金があるから実施できている部分が多いので、予算面でより一層の